



Polaris news

【北高ニュース NO.202304】

「SDGs カードゲーム」 カードゲームで SDGs を理解する (2023.6.19)

国際連合地域開発センターの方に来ていただき、国際理解コースの3年生が SDGs カードゲームを体験しました。1年生の時から SDGs について学んでいますが、カードゲームで疑似体験することで、新たな気付きがあり、SDGs に対する理解も深まりました。カードゲームの振り返りをした後は、スナック菓子が温暖化につながっているという具体的な例から、いかに世界がつながっているか、そして私たちの消費行動が変われば、世界は変わっていくかもしれないことを学びました。他にも、サーキュラーシティ表明をした市の取組の紹介もあり、できることは意外と身近にあることに気付くことができました。



■生徒の感想より

- 世界のバランスを保つことは大変だということを知った。1人じゃなく、みんなと協力しないとできないことがあることに気づけた。
- 今回のゲームでは、周りとの関わりが何より重要だと感じた。周りとの協力しなければ、今回のように全員が目標を達成するのは無理だと思う。
- 講師の方のお話やゲームを通して、どんな環境や世界でもバランスが大切だと知りました。自分たちの利益しか考えていないと今の世界のように戦争が起きたり、問題が未解決のまま時間だけが過ぎてしまったりします。時間切れが来てしまう前に、私たちが行動していかなければいけないと強く感じました。
- SDGs を知っている人は増えているのに、達成度が下がっている話を聞いて、もっとたくさんの人にしっかり意味も学んでもらい、協力していけると良いと思いました。